

Collabo

- 1面 フェスティバル募集、他
 - 2面 団体交流会開催報告・案内
 - 3面 イベント開催報告・案内
 - 4面 インターンシップ実習生報告
 - 5面 NPOの現場から、他
 - 6面 団体紹介、お知らせ
- 発行 こくぶんじ市民活動センター
発行日 平成25年10月1日

第8回 市民活動フェスティバル 出展団体(実行委員)を大募集!

開催日：平成26年4月20日(日) 会場：ひかりプラザ
申込締切：10月15日(火)

出展団体は、こくぶんじ市民活動センターの
登録団体で実行委員会に毎回参加できる団体です。
第一回実行委員会は
10月28日(月)18:00~19:30に開催します。

【市民活動フェスティバルとは】

- ・団体の活動PRの場
- ・団体同士や市民との交流の場
- ・市民の方に市民活動を知っていただく場

年々参加団体も増え、様々な企画で幅広い年齢層の方にご来場いただいています。

フェスティバルは、出展団体の皆さんによる実行委員会形式で企画・運営します。一緒にフェスティバルを盛り上げていきましょう!多くの団体のご参加をお待ちしております。

【申込み方法】

- 出展を希望される団体は、メール・電話・FAXまたは直接センターに
- 団体名 連絡者 連絡先
- をお知らせください。
- 登録がお済みでない団体は事前に登録をお願いします。



国分寺市協働事業審査会のお知らせ



国分寺市は協働の手法の一つとして、「提案型協働事業」(1)及び「公募型協働事業」(2)を実施しています。これらの協働事業は市のパートナーとなる市民活動団体の選定を「国分寺市協働事業審査会」が行います。ぜひ傍聴にお越しください。

会場等詳細については後日、市ホームページ及びこくぶんじ市民活動センターホームページ等でお知らせいたします。

公募型協働事業「放課後子どもプラン国分寺 地域子ども教室」

実施団体の審査・選考：10月25日(金)

提案型協働事業の審査・選考：11月22日(金)

1「公募型協働事業」とは国分寺市が事業内容の枠組みを定め、パートナーとなる市民活動団体を募集して、採択した市民活動団体とともに実施する事業です。

2「提案型協働事業」とは市民活動団体の自由な発想で市に事業を提案し、採択した事業を提案した市民活動団体とともに実施する事業です。

開催します！

地域・団体交流会 地域・発見！～つながろう、地域の力～

今年度の団体交流会は、「地域・発見！～つながろう、地域の力～」をメインテーマとして、地域のつながりを持つべく、市内を東西南北4つに分割して開催していきます。地域での活動や取り組みなどの情報共有、地域活性化への意見交換など、地域のことを話し合いませんか？地域で活動する団体・企業・商店会・自治会・学生など登録団体以外の方の参加もお待ちしています。

- | | | | |
|-----|-----|-------------|-----------------------|
| 第1回 | <東> | 本町・南町地域センター | 終了しました。 |
| 第2回 | <西> | 西町地域センター | 終了しました。 |
| 第3回 | <南> | 内藤地域センター | 平成25年12月17日(火)14時～16時 |
| 第4回 | <北> | 北町地域センター | 平成26年1月下旬 開催予定 |
| 第5回 | <結> | 国分寺市役所内会議室 | 平成26年3月上旬 開催予定 |

第1回地域団体交流会<東>開催報告

第1回目は東地区として、平成25年8月30日、本町・南町地域センターにおいて開催されました。残暑厳しい中、約40名というたくさんの方の参加がありました。市民活動団体、企業、商店、市の健康推進課の方々をスピーカーとして、活動の中で抱えている問題点や地域での活動や取り組みについてお話をいただいた後、意見交換を行いました。参加いただいた皆様はNPO法人・市民活動団体のほかに、近隣の自治会・町内会、商店会、市の職員、大学生など登録団体以外の多方面の方々に、世代を超えた交流会となり、新しいつながりもできた様です。



参加者の声（アンケートより）

- ・団体の活動状況、問題意識がよく理解できた。
- ・異ジャンルが集まるということに意義があり、有意義だったと思う。
- ・色々な方面の意見があって集中しづらいと思うが、それぞれ出た意見を聞いた事は良かった。
- ・継続的な集まりとなれば何か成果が顕われるのではないか
- ・それぞれの活動・目的を尊重しつつ人的な交流もしていく事で地域の活性化につながるのでは。

開催します！

市民活動とその支援～センターを知る・考える～

市民活動と中間支援組織についてみんなで語り合い、学びあうことを目的に企画したイベントです。他市の「NPO・市民活動センター」スタッフをゲストスピーカーにお招きして、中間支援組織として市民活動団体との関わりや取り組みなどをお伺いし、国分寺市の中間支援やこくぶんじ市民活動センターについて、皆様と一緒に考えたいと思います。

登録団体にかかわらず、どなたでも参加できます。多くの方の参加をお待ちしております！！

第1回：平成25年 8月 1日（木）*終了しました*

第2回：平成25年11月13日（水）14時～16時

場 所・・・国分寺市役所書庫棟会議室

第3回：平成26年 2月上旬開催予定

参加者には「中間支援組織活動ハンドブック」を配布いたします

第1回 開催報告

平成25年8月1日（木）、国分寺市役所書庫棟会議室において第1回「市民活動とその支援～センターを知る・考える～」を開催しました。

当日は、朝からの雨が上がりむしむしとした暑さの中、約20名の皆様にご参加いただきました。前半は府中NPO ボランティア活動センター事務局長の松木紀美子さんに「府中市における中間支援組織～地域のニーズと向き合う力～」と題したお話をいただき、後半は中間支援組織活動ハンドブックより、参加者に活動している中での課題や中間支援組織の役割などをカードに記入してもらい、松木さんにアドバイスや解決策を伺う『課題解決系ディスカッション』を行いました。皆様から頂いたご意見は今後のセンター運営に役立てたいと思います。



参加者の声（アンケートより）

- ・実際に活動されている方からの話が聞けて非常に参考になった。
- ・市民活動を考えるきっかけになった。
- ・府中と国分寺とは違いがあるが、具体的に中間支援を行っている人のお話が聞けてよかった。
- ・講師のバイタリティーに感心した。
- ・NPOの運営について具体的なイメージを得る事が出来た。

センターでインターンシップを受入れました！

協働コミュニティ課では、毎年学生インターンシップの受入れを行っております。今年度も2名の学生が参加し、国分寺市の協働事業や市民活動の活性化について考えてもらいました。また、団体交流会や市民活動団体のヒアリングなどにも参加し、インターン最終日には熱意のある成果報告が行われました。



私は実習の中で現場視察や団体ヒアリングへの参加の機会をいただいただけでなく、係内会議や課内会議、そして地域・団体交流会にも出席をし、学生として考えたことや意見などを精一杯発言いたしました。実際の活動現場に飛び込み、たくさんの方に参加する中で、まず考えたことは、市役所での仕事は他の課や市民団体と複雑に関わり合うことが多く、幅広い視点や角度で物事を捉える柔軟性が求められるということです。団体ヒアリングでは、音訳ボランティアの代表の方と、子どもまつりの実行委員長さんからそれぞれお話を伺いましたが、抱えている問題には共通する部分もあれば、団体固有の問題があったりするなど、狭い視点や考え方だけでは様々な団体の問題は解決できないことを実感いたしました。

また、地域・団体交流会では出席者の方々の名刺交換や、今後の互いの連携について話し合う様子が多く見られ、横の関係を深めるきっかけを提供していくことも行政には求められていると考えました。

実りある有意義な実習の機会をくださった協働コミュニティ課の皆様、ヒアリングにご協力くださった団体の方々に感謝していくとともに、今後の残り少ない学生生活にこの経験を生かして勉強を続けていきたいと思っております。

東京経済大学 現代法学部 安倍愛美



私はゼミナールやボランティア活動を通じ、地域社会や市民活動について関心があり、協働コミュニティ課にインターンシップ実習を志望しました。

実習において強く感じた事は、知る、知らせる事の大切さです。市民活動団体の方とお話させて頂いた際、事前リサーチと実際のお話しでは問題点や課題、地域における役割が大きく異なっていました。例えば音訳というボランティアがあり、若者向け小説に苦戦していること、町の子供祭りが町内を結ぶ「架け橋」的存在であること、町のパン屋さんが地域活性化のイベントを開催していることなど、リサーチでは分からなかった事ばかりでした。

また、お話の中で、人手不足、アイデア不足に悩む活動団体が多く、時間と体力、そして若い意見を持つ大学生が活かせるのではないかと思います。国分寺市には地域に貢献している素晴らしい活動団体が多く、楽しいイベントや若者の力が必要とされれば、学生たちはきっと参加してみたいと思うはずです。実習を通じ、もっと早く市民活動について知れたかった、もっと詳しく知りたい、伝えたいと思いました。まずは残り少ない学生生活で、学生だからこそ出来る、大学側や身近な学生達への理解、協力を呼びかけていきたいです。そして、将来社会人になった際に、市民活動を支援したいと思います。

駿河台大学 経済学部経済経営学科 森野千晴

【インターンシップ スケジュール】

		3日目	団体ヒアリング（音訳サークルやまばと）に同行 センター活性化・登録団体増加に向けた企画案検討
1日目	講義「協働コミュニティ課の業務」「協働事業の説明」	4日目	団体ヒアリング（泉町三丁目ふるさと子どもまつり実行委員会）に同行 小平市市民活動センターあすびあ・国分寺史跡資料館・おたカフェ視察
2日目	係内会議に参加 市内視察、ディスカッション	5日目	課内会議に参加 「地域・団体交流会 東」の準備・出席 インターン成果の発表



国分寺市を拠点とする
NPOの活動取材録

第35回

～地域をつなぐ財産～



シリーズ・NPOの現場から



泉町三丁目ふるさと子ども祭り実行委員会



今回紹介する「泉町三丁目ふるさと子ども祭り実行委員会」は、今年で31回目を数える「ふるさと子ども祭り」を運営しています。泉町三丁目は西国分寺駅南口という立地のためか、他地域から移住した方も多く、ふるさとがまちまち……。そんな中、泉町三丁目をふるさとに！との思いから始められました。泉町三丁目約950世帯からなる各自治会・管理組合の代表が役員となり、PTA、むさし商興会、老人会、交通安全協会が実行委員会をつくり、防災会、多摩信用金庫、都民銀行を巻き込んでの一大イベントです。これだけの地域団体が一同に集まって行うイベントは市内でも珍しいそうです。

長年行っているためか、子どもみこしの担ぎ手に渡す豆絞りや、アイスクリーム・お菓子（大人みこしはビール）などすぐに用意できるそうです。参加人数の把握はアイスクリームで行っていて、昨年は約500個を用意し、全て無くなりました。

実行委員会の打合せは3回という少なさ。でも、代々受け継がれたノウハウを活かし、皆さんが積極的に参加され着々と進んでいきます。豆絞りを鉢巻サイズにたたんだり、子どもみこしの花飾りもPTAの方が作られるそうです。

また、同じ多喜窪公園で行われるむさし商興会主催の盆踊りで使ったやぐらや、市役所から借用のテントをそのまま使用し、費用を折半し節約。前日のテント張りには、仕事帰りの新聞配達員さんにお手伝いいただいたり、大人みこしの担ぎ手には、多摩信用金庫や都民銀行の方が参加されたりと、自治会だけではなく泉町地域の住民（働いている方々）との交流の場にもなっているお祭りです。

9月14日(土)に行われた「泉町三丁目ふるさとこども祭り」へ実際に行ってきました！



台風が近づいていたこの日、小雨が降ったり止んだり不安定なお天気の中でしたが、お祭りの開催時間が近づくにつれて青空が見えてきました。実行委員長の掛け声のもと、みこしにかかっていたブルーシートがはずされ、やぐらの上では「本村はやし連」による祭囃子が始まりお祭りが始まります。八幡神社よりお札を頂いて、仮設のお宮にお祀りし地域の方が祝詞を上げます。みこしと会場の四方を清め、実行委員会の方々が献杯！半被姿に、祭囃子、甚平姿の子ども達がお祭りを盛り上げます。

各テントでは、PTA、防災会、老人会、自治会の方々が汗を流し、焼きそば、フランクフルト、焼き鳥、カキ氷、わたあめ、スマートボールすくいなどを格安で販売しています。その周りにはいつの間にかたくさん子ども達の行列が出来ていました。翌日は生憎の台風でお祭りは中止となりましたが、また来年を楽しみに。

平成25年度代表：野口誠一TEL:042-323-2278

団体ヒアリング
ご協力ありがとうございます

昨年からはまった団体ヒアリングですが、今年度も5月より各団体の事務所や活動現場にお邪魔して、活動状況や課題などをお伺いしています。

お陰様で現在までに16団体のご協力をいただき、今後の支援事業やセンター運営への参考になる様なお話をいただいております。引き続き日程等を調整しながら皆様のもとにお伺いしたいと思っておりますので、お忙しいとは思いますがご協力のほどをお願いいたします。

【25年度ヒアリング実施団体】（平成25年10月1日現在・敬称略）

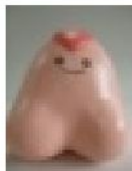
認定NPO 法人東京多摩いのちの電話・NPO 法人tadaima・フォークダンスサークルひまわり・NPO 法人KPSZ ホットライン・拡大写本こくぶんじ・NPO法人すまいる・日本スポーツ吹矢協会国分寺支部・NPO法人ごとの会・NPO法人国分寺市手をつなぐ親の会・NPO法人あおぞら・NPO法人お産サポートJAPAN・NPO法人国障連喫茶・市役所通り商店会・国分寺市南栄商店会・音訳グループやまばと・泉町3丁目ふるさと子どもまつり実行委員会

団体紹介コーナー

団体紹介
随時募集中!

市役所通り商店会

名前の通り、恋ヶ窪駅前、市役所の前の通りにある商店会です。昭和58年に設立して48店舗が加盟しています。



恋ヶ窪の「恋」という字のつく駅は、全国に4つしかありません。市役所通り商店会では、西武鉄道と一緒に「恋まち」の発展と商店会の活性化を目指し、「恋まちストリート」や「恋まちラリー」を企画・開催してきました。

商店会のイメージキャラクターである「こくぼちゃん」は、武蔵野美術大学の学生の協力のもと、「恋」にちなみハートをモチーフにしています。一連のイベントポスターやチラシなども、学生の全面協力で、かわいらしく目を引くものが出来上がりました。また商店会では、毎年多摩信用金庫恋ヶ窪支店の駐車場をお借りして、夏祭りを開催しています。今年は、装いも新たに『納涼はあとふるまつり』として「恋まちラリー」の答え合せ、景品交換、限定グッズ抽選会、更には、コンサートや出店など・・・地域の子どもたちがたくさん集まり、とても賑やかな一日となりました。

これからも、「こくぼちゃん」を使って地域のために町興しをしていきたいと思っていますので、みなさん身近な商店会としてご利用お待ちしております。

市役所通り商店 会長 清友龍一
連絡先 TEL : 042-321-4885
FAX : 042-321-7440



編集後記

あつ~い夏もやっと終わったと安心した矢先、大型台風に見舞われ、台風の落し物の片付けもやっと終わった今日この頃、少しばかり秋の声が聞こえてきましたね。秋といえば市民活動フェスティバルの実行委員会が始まる季節。昨年に引き続き皆様の参加を心よりお待ちしております。(R)

発行・編集 こくぶんじ市民活動センター(国分寺市役所 市民生活部 協働コミュニティ課)

〒185-8501 東京都国分寺市戸倉1-6-1 第三庁舎1階

042-208-3636 / Fax 042-208-3637

e-mail kccpc@jcom.home.ne.jp

http://www.collabo-kokubunji.com/

開館時間 平日9:00~17:00(ただし年末年始を除く)

平成25年10月1日発行



お知らせ



フェスティバル実行委員会を市報で紹介

偶数月1日発行の市報に平成24年度市民活動フェスティバル実行委員会に参加した団体を紹介しています。

6月号より5回にわたり6団体ずつ紹介。今回は10月1日号、掲載団体については、市報をおたのしみに!

登録団体情報冊子発行

平成25年度登録団体情報冊子を発行しました。

本年度の表紙を飾るのはぶんじほたるのホッチ。センターにお立ち寄りの際は是非お持ち下さい、また、各地域センター、図書館にも設置しておりますので、ご利用下さい。



センター長通信

今夏は猛暑日が連日のように続きました。8月12日には高知県四万十市で最高気温が41.0まで上昇して国内最高記録を更新したそうです。各地でゲリラ豪雨の被害も続きましたが、その一方、東・西日本の太平洋側では少雨がが続いています。こうした異常気象は地球温暖化の影響もあるといわれています。一人一人が地球環境に思いやりを持ちながら日常生活を送りましょう。

さて、今年は提案型協働事業の本格実施に当たり、7月に平成26年度事業の募集を行いました。多数の応募をいただきありがとうございました。現在市の担当課との調整会議を終え、今月には協働事業審査会を開催する予定です。担当課との役割分担をしっかりと定め、提案団体の素晴らしいプレゼンテーションが行われることを期待しています。読者の皆様も是非審査会にお越しいただくようお願いいたします。

